

物流改善で物流危機を乗り越える！

中部物流改善事例 発表会2025

会 期 2025年11月26日(水) 13:10~17:00

開催形式 会場参加・オンライン参加(Zoom)選択形式で開催

会 場 名古屋商工会議所 2階ホール(名古屋市中区栄2-10-19)

参加定員 150名(会場/オンライン併せた人数。定員になり次第締め切らせていただきます。)

主 催 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会中部支部
一般社団法人日本物流資格士会中日本委員会

開催の
ご案内

中部物流改善事例発表会とは

- 物流現場の様々な問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
- 物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場

発表企業

(社名五十音順)

- 株式会社アイシン ● 井村屋株式会社 ● 厚生産業株式会社 ● ブラザーロジテック株式会社
- 株式会社ミスミ ● 名港海運株式会社 ● ヤマハ株式会社

発表事例のテーマ

- 組織を超えた連携で挑む、輸出業務の標準化(輸出業務プロセス革新)
- バース予約システム導入による荷待ち・荷役時間の削減
- 社内パレットの管理強化 ~見て見ぬふりから、しっかり管理~
- 改善提案の活性化による品質事故低減の取り組み
- システム開発で変わる現場オペレーション - ダンボールサイズ最適化による環境と効率の同時実現
- 改善活動を活性化する風土づくり~全員参加で未来を創造~
- 輸送包装の段積み基準変更・製品ダウンサイズ推進による海上コンテナの削減

プログラムは
裏面を
ご覧ください

中部物流改善事例発表会2025 実行委員会 委員一覧

中部物流改善事例発表会は実行委員会にて企画・運営を行っています。

委員長

川北 俊信 名港海運株式会社 経営企画部 部長

委員

片桐 潔 愛知海運株式会社 国内物流部 部長(日本物流資格士会)
金成 智久 佐川グローバルロジスティクス株式会社 中部エリア エリアマネジャー
井戸 真也 株式会社ダイフク イントラロジスティクス営業部 支店統括部 中部支店 支店長

副委員長

中野 昭男 のぞみ経営研究所 代表(日本物流資格士会)

(2025年8月1日現在、敬称略)

神原 正道 中北薬品株式会社 業務物流本部 執行役員 業務物流本部長(日本物流資格士会)
平岡 豊 日本トランスシティ株式会社 執行役員 経営企画部長
井上 理 株式会社富士ロジテックホールディングス 常務執行役員 ナショナルセールスブロック長

プログラム

13:10 ～ 13:15	開会挨拶 中部物流改善事例発表会2025 実行委員会 委員長 川北 俊信
13:15 ～ 13:35	発表 1 組織を超えた連携で挑む、輸出業務の標準化(輸出業務プロセス革新) 株式会社アイシン 勝又 洸太 氏 (生産企画部) 輸出業務における複雑な独自運用を標準工程へ集約し、業務パターンを58から6へ削減。企画部門が調整役となり、営業・物流・企画の三者が連携して改革を進めた。阻害要因を一つひとつ排除することで年間1,200時間超の工数削減を達成。部門間の壁を越えた連携を通じ、主体的に改善へ挑む文化が醸成され、全社的な意識改革へとつながった。
13:35 ～ 13:55	発表 2 パース予約システム導入による荷待ち・荷役時間の削減 井村屋株式会社 大川 博之 氏 (ISCセンター 副部長) 物流関連法の改正を背景に、車両待機時間が最大60分発生する課題に着目。荷待ち・荷役時間を把握し削減する施策としてパース予約システムを導入した。運用の定着には社員教育や動画による手順説明を行い、利便性を高めた。結果として平均待機時間を28%削減し、作業効率化と安全性向上を同時に実現。業務標準化とシステム化により、持続的な改善効果を発揮している。
13:55 ～ 14:15	発表 3 社内パレットの管理強化 ～見て見ぬふりから、しっかり管理～ 厚生産業株式会社 桑原 慎 氏 (販売管理課 商品管理チーム) 放置されていたレンタルパレットを徹底的に調査・管理し、6月末時点で30万円の経費削減に成功。さらに取引業者見直しによりワンウェイパレット単価を20%削減、パース待機時間も15%改善した。経費削減の成果だけでなく、パレット＝経費という意識改革が進み、各部署責任者との連携も強化。2025年度は全社を挙げて「収益構造改革」に取り組んでいる。全員参画の経営理念を実践し、資材効率化と社内協力体制の構築を実現した。
14:15 ～ 14:45	質疑応答(発表1～3)、委員コメントおよび記念品贈呈、休憩
14:45 ～ 15:05	発表 4 改善提案の活性化による品質事故低減の取り組み ブラザーロジテック株式会社 山田 あゆみ 氏 (業務革新部 イノベーション課) 「改善提案の活性化が事故件数の低減につながる」との仮説に基づき、組織的な施策を継続的に実施し、提案活動を推進。その結果、提案件数は増加し、品質事故件数は減少。両者のデータには一定の相関が見られ、取り組みの効果を実感できた。こうした施策により改善意識も高まり、将来的には自然に提案が生まれる風土を目指している。
15:05 ～ 15:25	発表 5 システム開発で変わる現場オペレーション - ダンボールサイズ最適化による環境と効率の同時実現 株式会社ミスミ 齊藤 拓之 氏 (中日本流通センター 物流サービスグループ・センター長代行) 商品ごとの正確なサイズを自動計測し、最適なダンボールサイズを自動判定し、作業者へナビゲートするシステムを開発。従来の目視や経験に依存した梱包作業から脱却し、梱包時間も11%短縮。さらに配送コスト削減、資材使用量の削減により年間8トンのCO2排出削減も実現した。DX推進による本取組みは、物流現場のスマート化と環境負荷低減を同時に実現し、今後は複数倉庫や自動梱包ロボットへの展開も期待される。
15:25 ～ 15:55	質疑応答(発表4～5)、委員コメントおよび記念品贈呈、休憩
15:55 ～ 16:15	発表 6 改善活動を活性化する風土づくり～全員参加で未来を創造～ 名港海運株式会社 山崎 優理 氏 (物流センター統括部 アシスタントマネージャー) 全社的な改善活動を2009年から展開してきたが、提案件数や改善の質の低下、提出拠点・提案者に偏りがあることが課題となっていた。社員ひとりひとりが自業務に問題意識を持ち主体的に改善提案を行う風土づくりを目指して、報奨制度の活用、目標設定、事例共有や教育など、仕組みの改善に取り組んだ。
16:15 ～ 16:35	発表 7 輸送包装の段積み基準変更・製品ダウンサイズ推進による海上コンテナの削減 ヤマハ株式会社 齋藤 孔明 氏 (物流システム部 企画管理グループ 主事) 管理者不在で見直しが進まなかった輸送包装の基準に対し、物流部門が主導して改革を実施。段積み基準を変更・最適化し、製品ダウンサイジングを推進することで、ハイキューブコンテナの積載率を最大15%向上。海上コンテナ使用本数を削減し、環境負荷低減とコスト改善を両立した。さらに社内講座を通じて設計部門への改善意識を浸透させ、社内全体での包装改善の重要性を周知・定着させた。
16:35 ～ 16:51	質疑応答(発表6～7)、委員コメントおよび記念品贈呈
16:51 ～ 17:00	開会挨拶 中部物流改善事例発表会2025 実行委員会 副委員長 中野 昭男

参加申込規程

参加料(会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (消費税込)

会 員	7,700円/1名
会員外	16,500円/1名

有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。
本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深い実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。
◇フォローアッププログラム参加料:5,500円/1名(消費税込)
フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。
※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

会場参加	100名	オンライン参加	50名
------	------	---------	-----

(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

参加申込方法

当協会のホームページよりお申し込みください。
https://www1.logistics.or.jp/network/chubu_kaizen_sanka/

JILS

検索

トップ

▶

事業案内

▶

改善事例大会・発表会

※申込締切日: 2025年11月20日(木)

参加料支払い方法

●WEB請求書で請求いたします。
●WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。
それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
●WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
●お支払いは、原則として開催前日までお願いいたします。
●振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日 (開催日を含まず起算)	参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日	参加料(原則として消費税を除く)の全額

※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご注意

●お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。
●参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。
※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
●会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。
なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
●スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

参加申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会中部支部
〒460-0008
名古屋市中区栄1-22-16 ミナミビル407号
TEL:052-228-2225 FAX:03-3436-3190
e-mail : chubu@logistics.or.jp

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本開催に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信(Zoom利用)いたします。
日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあってご了承ください」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。
<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。